

2018年8月30日

各 位

会社名 日本ライフライン株式会社
代表者名 代表取締役社長 鈴木啓介
(コード番号 7575)
問合せ先 常務取締役管理本部長 高橋省悟
(TEL. 03-6711-5200)

CRM 関連製品の販売提携に関する基本合意のお知らせ

当社は、ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社（以下、ボストン・サイエンティフィック ジャパン社という。）と、**Boston Scientific Corporation**（米国）（以下、ボストン・サイエンティフィック社という。）の **CRM***関連製品に関する日本国内における販売提携について、下記のとおり基本合意に至りましたのでお知らせいたします。

記

1. 基本合意の概要及び目的

当社は 1981 年の事業の開始以来、心臓ペースメーカをはじめとする CRM 関連の医療機器の販売を行ってまいりました。日本全国を網羅する販売ネットワークを構築するとともに、不整脈治療領域における最新の動向や医療現場のニーズを的確に把握することで、国内における販売のみならず、医療機器の国内導入、マーケティング活動においても、メーカーに近い役割を果たしており、高いマーケットシェアを有しております。

また、ボストン・サイエンティフィック社は、世界有数の医療機器メーカーであり、同社の CRM 関連製品は世界各国で多くの患者様の治療に用いられております。また、同社は特に CRM 領域の中でも ICD（植込み型除細動器）、CRT-D（除細動機能付き両心室ペースメーカ）等の頻脈治療の製品群において独自性の高い医療機器を開発しており、高い評価を得ております。

本基本合意は、当社及びボストン・サイエンティフィック ジャパン社が、ボストン・サイエンティフィック社の CRM 関連製品の日本国内における販売について、提携することに合意したものであります。当社が有する日本国内における販売及びマーケティングの能力と、ボストン・サイエンティフィック社の有する徐脈・頻脈治療領域の優れた製品群とを組み合わせ、CRM 事業における提携関係を構築することによって、価値ある医療機器を日本国内に広く普及させるとともに、事業規模の一層の拡大を通じて、中長期的な成長を図ることを目的としております。

2. 今後の見通し

当社と、ボストン・サイエンティフィック社及びボストン・サイエンティフィック ジャパン社は年内の販売契約の締結を目指し、今後も契約条件に関する協議を継続してまいります。なお、現時点におきまして、本基本合意による当社の 2019 年 3 月期業績への影響は生じない見通しです。また、翌期以降の中期的な業績への影響につきましては、最終的な販売契約の内容を踏まえ精査を行い、公表すべき事項が判明いたしましたら、速やかに開示いたします。なお、現時点の見通しといたしましては、ボストン・サイエンティフィック社の有する頻脈治療領域の製品群の販売によって、当社の CRM 事業の拡大が見込まれることから、中期的な業績の向上につながるものと考えております。

※CRM: Cardiac Rhythm management（心調律管理）

ボストン・サイエンティフィック社について

ボストン・サイエンティフィック社は、低侵襲治療（インターベンション）に特化した医療機器メーカーとして、1979年に米国で誕生しました。現在の取扱製品は13,000種以上であり、グローバルで約29,000名の従業員、13カ所の製造拠点を擁し、125カ国近くのマーケットで確固たる地位を築いている世界最大級の医療機器メーカーとして、医療テクノロジーをリードし続けています。世界第2位の医療機器市場である日本においては、心血管疾患領域をはじめ、不整脈・心不全疾患領域、末梢血管疾患、消化器疾患、泌尿器疾患、婦人科疾患領域、疼痛管理・パーキンソン病の治療領域で、患者さんの人生をより多岐にわたるものにすることに全力で取り組み、日本の医療に意義のあるイノベーションを起こしていきます。

以上